

## トレーラー有効活用し物流効率化

### ■ 平野ロジスティクス

平野ロジスティクスは、オリジナル・トレーラーを有効活用して品質向上、物流効率化に取り組んでいる。現在のトレーラーの体制は大型トラックよりも96インチ仕様のULDを2台多く搭載できる「+2」>1台多く搭載できる「+1」>「+1」に改良を加えて背高貨物などへの対応に柔軟性を持たせた「+1α」>大型トラックよりもLD3換算で7台多くコンテナを搭載できるとともに複数のパレット仕貨物を搭載できる「+7」>「+7」に改良を加えてコンテナを8台多く搭載できる「+8」>「+7」に空調機能を持たせた「+7COOL」がある。航空機エンジンなどの大型貨物を搭載できる平ボディ・トレーラーも配備している。高度な空調機能を備えた「+1COOL」も近く導入する。

コロナ禍の収束、航空旅客便の本格的な運航再開を見据えて、成田-羽田間の保税転送(OLT)サービスの体制を強化している。現在、成田空港の南部貨物地区にトレーラー(荷台部分)の専用置場を確保している。同様の機能を羽田空港にも整備する方針だ。これらスペースに配備したトレーラーに順次、貨物を搭載。貨物搭載が完了したトレーラーをトラクター(ヘッド部分)が適宜、けん引して輸送する。空港現場には専任のオペレーター



平野ロジスティクスの「+1α」

を配置。上屋の状況を把握しながら、貨物の積み降ろし、貨物の保管・管理状況などを常時、確認する。こうした体制を確保することで、貨物搭載の時間に縛られることなくトレーラーの輸送が可能となり、待ち時間解消、運行効率向上につなげられる。

成田空港では南部貨物地区にコンテナ・スペースを確保済み。益子研一取締役営業本部長は「関係企業・機関のみなさまのご理解、ご協力のもと、専用スペースを確保でき、大変感謝している。これまで以上に効率的な物流の構築に貢献していく」と話す。

羽田空港の国際旅客便の本格回復のタイミングを見定めながら、羽田空港にも同様の機能を確保する方針だ。成田、羽田双方でトレーラー(荷台部分)への貨物の搭載を可能とする体制を整備する。深夜早朝など空港内上

屋が閉じている時間帯も、トレーラー置場を活用することで貨物搭載が可能だ。トラクター(ヘッド部分)は貨物搭載の時間の制約を受けずに稼働できる。両空港におけるトラックの待機時間解消、空港間輸送効率化を追求することで、成田空港および羽田空港を活用する国際航空物流の発展に貢献する。環境負荷低減への効果も期待される。

益子取締役は「現在はコロナ禍の影響で羽田発着の国際線が減少している状況にあるが、コロナ禍が収束に向かい、旅客需要が回復すれば、羽田空港の国際旅客便が増加することは間違いのない。成田-羽田間のOLT需要も高まる」と説明。「そのタイミングが来た時に即座に充実したサービスを提供できるように体制を整備、強化している」と語る。

### TOPICS 羽田空港 国内航空貨物の拠点空港

羽田空港は国内航空貨物の拠点空港として重要な位置付けを担っている。7~8割の国内航空貨物が羽田空港を拠点に日本各地に輸送されている。

本紙が集計した2021年度上期(4~9月)の国内航空貨物輸送量は前年同期比10.2%増の23万2831トンだった。コロナ禍の影響で20年4~6月は国内航空貨物取扱量が大幅に減少。21年度上期はその反動の要素もある。まだコロナ禍前の水準は回復していない状況だ。

出荷企業によって違いはあるものの、国内航空貨物の荷動きを下支えしているのは宅配貨物だ。宅配貨物全体の需要は拡大傾向にあり、貨物特性に応じて航空輸送されている。コロナ禍の影響で旅客便ネットワークが制約される中、航空会社は羽田空港を中心とした幹線で旅客機貨物便も運航してネットワーク・供給を確保している。足元では国内線の旅客需要が回復傾向にあるとの見方も強く、年末の繁忙期に向けて貨物需要の盛り込込上りにも期待が寄せられている。

**空港施設株式会社**  
AIRPORT FACILITIES CO., LTD

〒144-0041  
東京都大田区羽田空港1-6-5  
第五綜合ビル  
TEL.03-3747-0251(代表)  
https://www.afc.jp

代表取締役社長 乗田俊明

# +1α 30台体制に

OLT Innovator, Hirano Logistics

空港間の大量輸送を実現



室内高  
**300cm**  
確保

**+1α**  
(プラスワン・アルファ)

- 96インチ仕様のULDを4枚搭載できる「+1」よりも積重量・容積が拡大
- 車両側面部からの貨物搭載も可能、最大積載重量26t
- 半導体製造装置や大型フレーター搭載の大型・背高貨物などの輸送に威力を発揮
- 屋根が上下に稼働し、内寸305cmを確保・ハイパレットQ7を搭載可能

**+1 +1α +2 +7 +8 合わせて55台規模を実現**



### Medica号

医薬品専用車両

- 25℃~25℃温度設定可能(温度記録計を搭載)
- 温度逸脱警報システムを完備
- GDPのガイドラインに基づいた機能を装備



**+7** (プラスセブン)  
ペリー貨物専用車両  
LD3コンテナ換算で  
13台を搭載

### 96空調車

- 96インチパレット搭載可能な空調車で、医薬品輸送にもピッタリ
- 5℃~25℃温度設定可(温度記録計を搭載)
- 総縮エアサスペンション仕様



**+8** (プラスエイト)  
ペリー貨物専用車両  
LD3コンテナ換算で  
14台を搭載



**+1** (プラスワン)  
ULD4枚積みセミトレーラー



**+2** (プラスツー)  
ULD5枚積みフルトレーラー

365日24時間の  
営業体制

トレーラーを含めて  
全ての車両をGPSにて管理

航空貨物輸送や  
セキュリティに精通した  
スタッフがご対応

全ての車両が  
ローラーベッド仕様です



航空貨物輸送のバイオニア

株式会社 平野ロジスティクス



特定保証運送者

本社 078-994-0069  
東海支店 0538-42-9480  
神戸営業所 078-965-0918

関東支店 0476-35-3600  
中部支店 0569-38-7209  
福岡営業所 092-586-8915

東京営業所 03-6382-7768  
関西支店 072-463-7455

成田空港出張所 0476-32-2981  
関西空港営業所 072-456-8470

<http://www.hirano-logistics.com>